

彩新クラブ活動報告 2018

3月31日発行

深谷市議会
彩新クラブ活動報告春号
発行責任者 村川徳浩
〒366-0041
深谷市東方 2603
TEL048-572-4228

彩新クラブ綱領

- 1 市民福祉の維持向上を図り、地域の均衡ある整備・発展に努める。
- 2 相互の自由闊達な議論を尊重し、議会の活性化に努める。
- 3 二元代表制の下で議会機能が十分発揮できるよう、議会改革に努める。
- 4 公平・公正・公開の下で議員職務の遂行に努める。
- 5 地方自治の動向に対応し、常に研鑽を重ねて市民の信頼・付託に答えるよう努力する。



消防分署耐震化事業

788,262 千円

平成 30 年から平成 31 年にかけて総額 10 億 4534 万円の予算を計上。川本分署、藤沢分署は 31 年度中に運用開始、岡部分署、豊里分署は 32 年度中に運用開始予定。



岡部公民館建設事業

920,580 千円

平成 29 年度から平成 31 年度迄の 3 年間で、総額 15 億 3430 万円（用地費を含む）の予算を計上し完成する延べ床面積 3100 ㎡の平屋建ての建物で、施設内に図書館分館総合支所機能を有する複合施設。



新庁舎整備事業

2,434,579 千円

平成 29 年度から平成 32 年度迄の 4 年間で、工事費総額 79 億 5,000 万円の予算を計上し完成する延べ床面積 13400㎡、免震構造の鉄筋コンクリート造りで地上 4 階建ての新庁舎は平成 32 年度中の供用開始予定。



平成30年度一般会計予算

516億1085万4千円

平成30年度深谷市議会第1回定例会が開催され、新年度の当初予算を含む38件の議案が可決しました。30年度予算は、516億1085万4千円で前年度に比べ56億5836万4千円（12.3%）の増額となりました。新庁舎建設事業、岡部公民館建設事業、産業拠点推進事業、消防分署耐震化事業などの建設事業費が大幅に膨らんだことが増額の主な理由です。

この増えた分を賄うための主な財源は、建設事業等の着工に伴う合併特例債などを含む市債で、前年度27億2800万円から今年度64億9070万円に大幅に増額しています。

平成30年度特別会計

国民健康保険・後期高齢者医療・国済寺土地地区画整理・岡中央土地地区画整理・水道事業会計・下水道事業各事業会計6件の特別会計予算総額298億4679万1千円、対前年度比43億5672万2千円（12.7%）の減額予算を可決しました。

ミルクおやじレポート



花園に拠点整備プロジェクト

当初の予定では平成30年度中に開業だったアウトレットですが、広報ふかやの紙面によると、約2年遅れで着実に進行中だそうです。この事業で注目すべき点は、秩父線の『ふかや花園駅』の工事が始まった事で、今年10月には新駅は開業予定だそうです。



今年度6億4863万3千円もの予算が計上されたんですが、このプロジェクトには既に5年以上の歳月と11億円以上の予算をつぎ込んでいます。したがって深谷市にとっては早期の完成が望まれるところですが、だからと言って手放しで応援することはできません。今後もしっかり動向を見守りたいと思います。

今、私が注目しているのは、プロジェクトの予定地周辺に駐車場用地を購入している人がいるという話です。市がそれに何らかの便宜を図っているのではないかと、先日議員間で噂になっていました。単なる噂かもしれませんが調べてみたいと思います。それはそれとして、これ以上遅れると更なる税金投入や三菱地所・サイモンの撤退も考えられるので、プロジェクトを潰そうと考えている利害関係者の動向にも目を光らせていこうと考えています。

同プロジェクトに関する一般質問



おやじの疑問①

問 新駅は出来たが、アウトレットは中止という最悪のシナリオを避けるために、農林調整のめどが立つまでは予算執行を見合わせるよう、取り決めた。この条件はクリア出来たのか。

答 区画整理によりプロジェクトの実現性は担保できたと考えている。

問 リスクを避けるため、新駅設置は完成後にすべきではないか。

答 今後の工事工程や工期を考慮すると、駅を先に建設する必要がある。

問 プロジェクトが2年も遅れているのは、住民投票を行わなかったために、市民の総意として計画を進めることができなかった事が影響しているのではないか。

答 遅延は、調整・協議の長期化と整備手法変更によるものである。

問 花園IC拠点整備プロジェクトにおいて、深谷市が現在までに投入した11億5700万円を民間事業者が自費で進める計画に変更した場合、回収する事は可能か。

答 回収する事は不可能である。

原郷上野台線アンダーパス

原郷上野台線の立体交差の話は平成9年の陳情にまで遡ります。当初、話が進む中で計画されたのはオーバースでした。ところが平成13年に、地元住民からプライバシーの問題や日照権を理由にした反対運動が起こり、計画を変更した経緯があります。当時の概算事業費はオーバース約10億円、アンダーパス約20億円でした。平成23年に都市計画が変更になり、正式にアンダーパスで事業を進めることが決まりましたが、その時点でもこの数字をもとに都市計画審議会で検討されていました。

ところが平成24年12月に開催された議員全員協議会において、約48億円もの莫大な費用が掛かることがJRから提出された詳細設計により判明しました。事業費もさることながら安全性に関しても、集中豪雨による自動車の水

没事故で死者が出ている現実、決して無視することはできません。

実生活に置き換えて下さい。2千万円で契約した家が、最終的には4千8百万円になってしまったという事です。一度契約したからといって、見直しをすることなくあなたはその契約に従いますか。住民に対する補償等、他に何らかの解決策があるかもしれません。再検討もせずにこのまま進んでしまうのはあまりにも乱暴です。

アンダーパスに関する一般質問



おやじの疑問②

問 48億円も掛けてアンダーパスは必要か。芝野踏切が無くなると、かえって不便になるのではないか。

答 歩行者にとって、遠回りになる、坂道や階段で身体的な負担が増す等のデメリットもあるが、踏切事故リスクを回避し、安全安心な交通環境を確保するためには必要である。

問 オリジナルで建設費が高騰している今、なぜ計画を実行するのか。

答 他事業の進捗状況や国済寺土地地区画整理事業の完成を視野に入れた結果、必要性があると判断した。

問 原郷上野台線アンダーパスの集中豪雨時の安全対策は十分か。

答 1時間に150ミリの雨量まで対応できる水中ポンプを設置する。通行止めの時は、センサー付きの自動遮断機で対応し、電光掲示板による注意喚起などの対策をしている。

問 原郷上野台線の立体交差がアンダーパスに変更になった時点では、建設費は20億円とされていたが、その後の詳細設計で48億円も掛かることが判明した。常識的に考えるとこの決定は無効ではないか。

答 経済的なことを理由にして都市計画決定の変更はできない。



深谷市議会議員

ミルクおやじレポート

新川本公民館建設予定地

川本地区では新しい公民館の建設場所をめぐり、現公民館敷地を推す新昭和会と総合支所敷地を推す深谷市川本の文化施設と防災を考える会が、それぞれ署名活動を行うなどして意見の対立が起こっています。新昭和会は、川本公民館建設協議会で一度正式に決まったのだから現公民館の敷地にするべきだと訴え、文化施設と防災を考える会は、国土交通省が平成28年に変更した荒川洪水浸水想定図を根拠に、より安全な総合支所の敷地にするべきだと主張しています。川本公民館建設協議会は委員の投票により、当初8対7で現公民館敷地を予定地として選定しましたが、水防法の改正により、安全性の基準が見直された荒川洪水浸水想定図変更後の意向調査では、8割を超える委員が総合支所の敷地が建設地にふさわしいと意思を表明しています。

二つの団体の意見が対立していることから、公民館を所管する深谷市教育委員会は、地域を二分する問題であるため慎重に判断をする必要があるとして、専門家に調査を依頼する事を8月の議員全員協議会で発表しました。

当初はプロポーザル方式の公募で業者を選定する予定でしたが、結局応募者は無く、条件を緩和して一般競争による入札を行ったところ、八千代エンジニアリング株式会社が267万8400円でこの調査業務を落札しました。同社は花園IC拠点整備プロジェクトを中心に、ここ数年で5件ほど深谷市の仕事をしています。

川本公民館に関する一般質問の主な内容

おやじの疑問③

問 川本公民館の建設地を決定するために、300万円も掛けて調査をする必要はあるのか。

答 水防法の改正により洪水浸水想定区域図が変更になり、候補地の安全性の評価が変わったため、専門的な調査が必要となった。

問 深谷市は、川本地区の消防団長全員、自治会長の9割が支持している総合支所を候補地として決定すべきではないか。

答 一度正式に決まった場所を変更するにはそれなりの理由が必要であるため、専門的知識を有する外部機関に調査を委託した。

問 調査に時間をかけ、結果の公表を3月にしたのは、市長選挙前に結論を出すこと二つの対立する候補地の支持者のどちらか一方を敵に回してしまうからではないか。

答 調査を依頼し結論を出すのは教育委員会であり、市長選挙とは全く関係ない。

※田島議員によると、深谷市は一昨年の12月には専門家による調査を行うと明言したそうですが、実際に調査の公募が行われたのは昨年の10月です。



第2次深谷市総合計画



あとがき

私はこの1年間、一般質問で同じテーマの質問を繰り返してきました。小島市長をはじめとする市の執行部や所管課の担当職員はかなりしつこいと感じているかもしれませんが、特に川本公民館の問題に関しては、地元でもないので何故、何度も質問するのか理解できないという方もいるでしょう。

でもよく考えてください。安全安心という観点でも、住民の意向という面でもすでに答えは出ているのです。どうして業者に調査を依頼する必要があるのか、私には理解できません。

アンダーパスに関しても、一度決まったことだからという理由で、事業費が倍以上に膨らんでも見直しをしないなんて、私の常識ではありえません。だから質問するのです。

こんな質問をすると職員は困るのかな。担当職員の顔が浮かんで眠れなくなることもあります。**こんな質問**をする必要がなくなつて、『歌だけ歌っていられたらいいなあ』と感じる今日の頃です。

ゆるキャラミルク082くん遊びに来て欲しい方は、写真下のアドレスにメールを下さい。日程の都合がつけば盛り上げに伺います。

